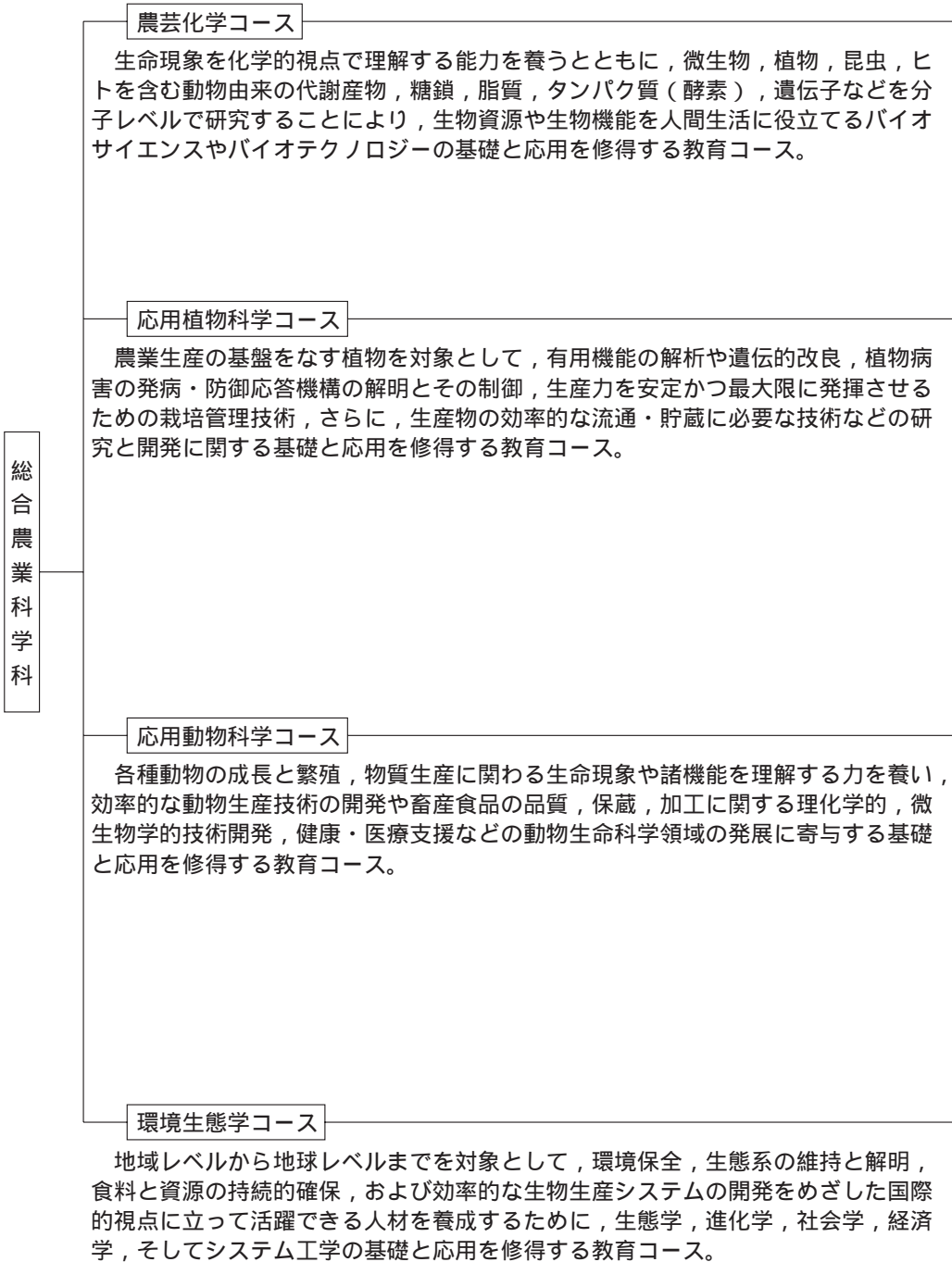


# 1 . 農学部総合農業科学科の各コースの説明



## 附属山陽圏フィールド科学センター

生物圏の総合科学である「フィールド科学」に関する教育・研究を推進するために設けられた附属施設である。学生の実習教育やプロジェクト研究の推進を担うフィールドサイエンス推進部門と大学公開など地域連携の推進やプロジェクト研究のパイプ役を担う企画連携部からなる。津島キャンパス内の岡山農場と津高牧場、八浜農場、本島農場の4農場で構成されている。

(研究ユニット)

生理活性化学・・・生理活性物質の探索と細胞・酵素による生産  
生物反応化学・・・生物反応の化学的解析と生体制御物質の生産  
有用酵素化学・・・糖鎖・酵素等の生理活性高分子の機能解析と応用  
微生物遺伝子化学・・・微生物由来の有用酵素の探索，遺伝子解析と応用  
食品生物化学・・・高機能性食品の創製に関する生物化学的研究と応用  
生物情報化学・・・植物細胞における一次情報の受容と細胞内伝達機構解明  
微生物機能学・・・独立栄養細菌の機能開発および環境適応機構の解明  
根圏生物システム学・・・根圏における植物-微生物共生系の解明と利用

(研究ユニット)

遺伝子工学・・・植物病原菌の病気の原因遺伝子と植物の防御遺伝子の解析と応用  
資源細胞工学・・・資源生物の備えている有望な諸形質や遺伝子に関する解析と応用  
植物感染制御学・・・植物の感染症とその原理に基づく免疫制御に関する研究  
植物細胞遺伝学・・・植物の遺伝的多様性に関する分子遺伝学的解析と育種への応用  
農産物利用学・・・農産物の収穫後生理と流通・貯蔵技術の開発  
農産食品機能学・・・農産食品の成熟・老化機構に関する生理学および分子生物学的解析  
作物生産技術学・・・生産性の向上と環境安全を前提とした作物生産システムの技術的基礎と応用  
園芸生産技術学・・・果樹を中心とした園芸作物の生理・生態的特性の解明及び生産技術の開発  
作物繁殖学・・・野菜種苗の生理・生態的特性の解明と生産システム開発  
果実発育調節学・・・果樹の結実及び果実発育機構の解明とその人為的調節技術の開発  
作物開花調節学・・・園芸作物の花成制御と養水分管理の最適化に関する研究  
作物発育調節学・・・農作物の収量向上・安定および非生物的ストレス耐性の解明

(研究ユニット)

家畜繁殖学・・・動物の生殖に関する内分泌学的ならびに発生工学的研究とその応用  
家畜生体機構学・・・動物の生理、特に鳥類の免疫機構に関する研究ならびに動物の循環系に関する薬理学的研究  
家畜育種学・・・家畜や実験動物における遺伝機構の解明とその育種法への応用  
動物遺伝解析学・・・動物の有用形質や疾患に関わる遺伝子の解析及びその制御と応用  
家畜栄養学・・・動物の栄養調節や消化管機能の追究ならびに飼料のバイオブリザベーションと機能性制御  
畜産物利用学・・・畜産食品の品質および理化学的特性の解析とその応用  
畜産食品機能学・・・畜産食品の保蔵・加工における微生物学的な諸機能の解明とその応用技術  
家畜生産技術学・・・未利用資源を活用した家畜生産システムの開発と普及

(研究ユニット)

緑地生態学・・・緑地の生態学的特性および緑地植物の生理的特性の解明  
森林保全学・・・樹木の生理生態的特性の解明と森林生態系の管理  
土壌生態管理学・・・土壌-植物系の物質動態解明による荒廃地緑化  
総合的害虫管理学・・・農林生産における害虫の発生生態と防除  
動物集団生態学・・・生物間相互作用と生物多様性の進化生態学的解明  
水系保全学・・・水系生態系の生物多様性解析と保全技術の開発  
生産システム工学・・・生物生産用機械・施設の開発およびロボット化  
食料情報システム学・・・食料生産に関する情報処理と経営管理体系の確立  
資源情報システム学・・・地域資源の効率的利用および資源の保全・利用計画の開発

### 3 . 岡山大学農学部履修細則

(趣旨)

第1条 この細則は、岡山大学農学部規程（平成18年岡山大学農学部規程1号）第12条、第17条及び第23条の規定に基づき、岡山大学農学部における教養教育科目と専門教育科目の授業科目、単位数及び履修方法並びに食品衛生法に規定する食品衛生管理者及び食品衛生監視員（以下「衛生管理者等」という。）の資格取得（食品衛生資格取得コース）に関し、必要な事項を定めるものとする。

(教養教育科目)

第2条 教養教育科目の授業科目及びその単位数は、履修課程表1に掲げるとおりとする。

(専門教育科目)

第3条 専門教育科目の授業科目及びその単位数は、履修課程表2に掲げるとおりとする。

(専門教育科目の科目区分)

第4条 専門教育科目の専門基礎科目は、必修科目および選択必修科目に、専門科目は必修科目、コース科目選択必修科目、コース科目自由選択科目に区分される。

(履修方法)

第5条 卒業に必要な専門教育科目の履修方法は、履修課程表2に掲げる授業科目のうちから、次に示す単位を指導教員の指導を受けて履修しなければならない。

科目区分等			単位数	
専門教育科目	専門基礎科目	必修科目	16	
		選択必修科目	6	
	専門科目	必修科目	16	
		コース科目	選択必修科目	18
			自由選択科目	31
合計			87	

2 専門基礎科目選択必修科目のうち卒業に必要な単位を超えて修得した単位数は、コース科目自由選択科目の単位数とすることができる。

3 コース科目選択必修科目のうち卒業に必要な単位を超えて修得した単位数は、コース科目自由選択科目の単位数とすることができる。

(コース分属のための履修条件)

第6条 本学部では、2年次前期に所定のコースに分属するが、コースに分属できる者は、1年次後期修了時において卒業に必要な教養教育科目のうち個別科目（自然科学）を3単位以上、外国語科目（英語）を2単位以上修得している者とする。

(卒業論文)

第7条 卒業論文を履修できる者は、3年次修了時までには卒業に必要な単位124単位中100単位以上修得している者とする。

(食品衛生資格取得コース)

第8条 本学部に衛生管理者等の資格取得のため、厚生労働大臣の指定する養成施設として食品衛生資格取得コースを置く。

2 食品衛生資格取得コースを修了した者は、衛生管理者等になることができる。

- 3 食品衛生資格取得コースを履修できる者は、本学部総合農業科学科の学生とする。
- 4 食品衛生資格取得コースの履修科目は、別表のとおりとする。(別表は24ページに掲載している。)
- 5 別表に規定する所定の単位を修得した者は、食品衛生資格取得コースの修了者とする。
- 6 この細則に定めるもののほか、必要な事項については、別に定める。

附 則

- 1 この規程は、平成18年4月1日から施行する。
- 2 改正後の規定にかかわらず、平成17年度以前の入学者については、なお従前の例による。

## 4 . 履 修 課 程 表

### 1 . 教 養 教 育 科 目 ( 履 修 課 程 表 1 )

科目区分等		授業科目名	単位	備 考	卒業要件単位	
ガイダンス科目		総合農業科学入門	2	必 修	2	
主題科目	現代の課題	岡山大学教育開発センター長が学年の始めに公示する。		4つの主題グループから、それぞれ1授業科目2単位以上を履修	2	
	人間と社会				2	
	健やかに生きる				2	
	自然と技術				2	
個別科目	人文・社会科学				実験科目を含むことが望ましい 3単位まで卒業要件算入可 卒業要件単位外	6
	自然科学					0
	生命・保健科学					0
	情報科学					0
外国語科目	英 語		英語（基礎農学英語）	2	必 修	2
			英語（ネイティブ）	2	必 修	2
		英語（作文・文法）	2	4単位以上選択必修	4	
		英語（読解）	2			
		英語（検定）	2			
		上級英語	2			
		英語特別演習1	2			
		英語特別演習2	2			
		基礎英語	2			卒業要件単位外
	ド イ ツ 語	ドイツ語初級（文法）	各2		4単位以上選択必修	4
		ドイツ語初級（読本）				
		ドイツ語初級（文法）				
		ドイツ語初級（読本）				
		ドイツ語中級				
	フ ラ ンス 語	ドイツ語初級（総合）	各4		4単位以上選択必修	4
		ドイツ語初級（総合）				
		フランス語初級（文法）	各2		4単位以上選択必修	4
		フランス語初級（読本）				
		フランス語初級（文法）				
	フランス語初級（読本）					
	フランス語中級					
	フランス語初級（総合）	各4		4単位以上選択必修	4	
	フランス語初級（総合）					
	中 国 語	中国語初級（文法）	各2		4単位以上選択必修	4
		中国語初級（読本）				
		中国語初級（文法）				
		中国語初級（読本）				
		中国語中級				
韓 国 語	韓国語初級（文法）	各2		4単位以上選択必修	4	
	韓国語初級（読本）					
	韓国語初級（文法）					
	韓国語初級（読本）					
	韓国語中級					
韓国語初級（総合）	各4		4単位以上選択必修	4		
韓国語初級（総合）						
ロ シ ア 語	ロシア語初級（文法）	各2		4単位以上選択必修	4	
	ロシア語初級（読解）					
	ロシア語初級（文法）					
	ロシア語初級（読解）					
	ロシア語中級					
ス ペ イ ン 語	スペイン語初級（文法）	各2		4単位以上選択必修	4	
	スペイン語初級（読解）					
	スペイン語初級（文法）					
	スペイン語初級（読解）					
	スペイン語中級					
イ タ リ ア 語	イタリア語初級（文法）	各2		4単位以上選択必修	4	
	イタリア語初級（読解）					
	イタリア語初級（文法）					
	イタリア語初級（読解）					
	イタリア語中級					
日 本 語	日本語（A, B, C, D）	各2		留学生のみ 教養教育科目	計	
					37	

## 2. 専門教育科目（履修課程表2）

### a. 専門基礎科目

開講 セメスター	授業科目番号	授業科目名称	単 位	教 員	備 考
1	115000	農学概論	2	担当教員	全科目必修
1	115001	農生命化学	2	稲垣(賢)神崎	
1	115002	農業生物学	2	近藤・津田	
1	115003	農業資源学	2	佐藤(豊)	
2	115004	農芸化学コース概論	2	コース教員	
2	115005	応用植物科学コース概論	2	コース教員	
2	115006	応用動物科学コース概論	2	コース教員	
2	115007	環境生態学コース概論	2	コース教員	2科目選択必修
2	115100	基礎微生物学	2	杉尾・上村	
2	115101	基礎遺伝学	2	田原・国枝・加藤	
2	115102	基礎分子生物学	2	稲垣(善)	
2	115103	地球環境論	2	吉川	1科目選択必修
3	115104	基礎生物学実験	2	担当教員	
3	115105	フィールド基礎実習	2	担当教員	
4	115106	基礎分析化学実験	2	担当教員	卒業要件外
1	115600	農場体験実習	1	F S C	

### b. 専門科目（必修科目）

開講 セメスター	授業科目番号	授業科目名称	単 位	教 員	備 考
3	115200	実験実習指針	1	担当教員	
3	115201	コース演習	1	コース教員	
4	115202	コース演習	1	コース教員	
5	115203	コース演習	1	コース教員	
6	115204	研究科目演習	1	担当教員	
7	115205	研究科目演習	1	担当教員	
7 - 8	115206	卒業論文	10	担当教員	

c. 専門科目（コース科目）

（ は各コースにおける選択必修科目，それ以外は自由選択科目）

開講 セメ スター	講 義 番 号	授 業 科 目 名	単 位	教 員 名	提 示 コ ー ス 等	農 芸 化 学	応 用 植 物 科 学	応 用 動 物 科 学	環 境 生 態 学
3	115300	分析化学	2	田村	農芸化学				
3	115301	生物化学	2	木村	農芸化学				
3	115302	有機化学	2	馬場	農芸化学				
3	115303	応用微生物学	2	稲垣(賢)	農芸化学				
3	115304	植物遺伝学	2	田原	応用植物科学				
3	115305	植物生理学	2	山本(洋)	応用植物科学				
3	115306	植物病理学	2	白石	応用植物科学				
3	115307	園芸学	2	久保田	応用植物科学				
3	115308	栽培学	2	黒田	応用植物科学				
3	115309	植物形態学	2	吉田	応用植物科学				
3	115310	農産物生理学	2	久保	応用植物科学				
3	115311	動物細胞科学	2	舟橋・阿部	応用動物科学				
3	115312	動物組織・形態学	2	近藤	応用動物科学				
3	115313	動物生理学	2	阿部	応用動物科学				
3	115314	栄養生化学	2	坂口・宮本	応用動物科学				
3	115315	農業経営学	2	小松	環境生態学				
3	115316	農業ロボット工学概論	2	門田	環境生態学				
3	115317	環境保全学	2	嶋・福田	環境生態学				
3	115318	動物生態学	2	宮竹・松浦	環境生態学				
3	115423	森林生態学概論	2	坂本(圭)廣部	環境生態学				
3	115320	農家体験実習	2	岸田(集中)	F S C				
3・5	115321	農業気象学	2	田中丸	環境生態学(H22)				
4	115322	生物化学	2	笹川・村田(芳)	農芸化学				
4	115323	有機化学	2	中島	農芸化学				
4	115324	応用微生物学	2	上村	農芸化学				
4	115325	農産物利用学	2	中野	応用植物科学				
4	115326	遺伝子工学	2	一瀬	応用植物科学				
4	115327	植物育種学	2	加藤	応用植物科学				
4	115328	花卉園芸学	2	後藤	応用植物科学				
4	115329	果樹園芸学	2	平野	応用植物科学				
4	115330	作物学	2	津田	応用植物科学				
4	115331	蔬菜園芸学	2	榊田	応用植物科学				
4	115332	応用植物科学コース実験	2	担当教員	応用植物科学				
4	115333	動物遺伝学	2	国枝	応用動物科学				
4	115334	動物育種学	2	及川	応用動物科学				
4	115335	動物生殖生理学	2	アコスタ	応用動物科学				
4	115336	畜産食品微生物学	2	宮本	応用動物科学				
4	115337	畜産食品学	2	泉本	応用動物科学				
4	115338	家畜生産学	2	岸田	応用動物科学				
4	115339	動物栄養学	2	坂口	応用動物科学				



開講セメスター	講義番号	授業科目名	単位	教員名	提示コース等	農芸化学	応用植物科学	応用動物科学	環境生態学
4	115340	生物生産機械学	2	難波	環境生態学				
4	115341	農業経済学	2	駄田井	環境生態学				
4	115342	土壌環境管理学	2	嶋	環境生態学				
4	115424	緑地保全学	2	坂本(圭)	環境生態学				
4	115344	農環境物理学	2	難波	環境生態学				
4	115345	環境生態学コース実験	2	駄田井ほか	環境生態学				
4	115346	環境生態学コース実験	2	坂本(圭)ほか	環境生態学				
4	115347	地域農業技術論	2	岸田ほか	F S C				
4	115377	フィールド実習	2	吉田ほか	F S C				
4	115348	日本農業論	2	非常勤	共通				
4・6	115349	農産食品工学	2	非常勤(集中)	応用植物科学(H22)				
5	115350	生物化学	2	稲垣(賢)	農芸化学				
5	115351	有機化学	2	担当教員	農芸化学				
5	115352	応用微生物学	2	杉尾	農芸化学				
5	115353	生物物理化学	2	田村・村田(芳)	農芸化学				
5	115354	酵素化学	2	田村	農芸化学				
5	115355	食品生化学	2	中村	農芸化学				
5	115356	土壌学	2	笹川	農芸化学				
5	115357	病態分子生物学	2	豊田	応用植物科学				
5	115358	作物繁殖学	2	村上	応用植物科学				
5	115359	作物生態生理学	2	齊藤	応用植物科学				
5	115360	熱帯農学	2	黒田・久保田・齊藤	応用植物科学				
5	115361	開花調節学	2	後藤	応用植物科学				
5	115362	応用植物科学コース実験	2	担当教員	応用植物科学				
5	115404	応用植物科学コース実験	2	担当教員	応用植物科学				
5	115363	実験動物科学	2	国枝ほか	応用動物科学				
5	115364	家畜管理・衛生学	2	西野	応用動物科学				
5	115422	動物内分泌学	2	奥田	応用動物科学				
5	115365	動物発生工学	2	舟橋	応用動物科学				
5	115366	食品栄養学	2	坂口	応用動物科学				
5	115367	応用動物科学コース実験	2	担当教員	応用動物科学				
5	115368	応用動物科学コース実験	2	担当教員	応用動物科学				
5	115369	応用動物科学コース実験	2	担当教員	応用動物科学				
5	115370	資源管理学	2	佐藤(豊)	環境生態学				
5	115371	食料情報学	2	横溝	環境生態学				
5	115372	応用力学	2	門田	環境生態学				
5	115425	樹木生態生理学	2	吉川・三木	環境生態学				
5	115374	環境生態学コース実験	2	難波ほか	環境生態学				
5	115375	環境生態学コース実験	2	宮竹ほか	環境生態学				
5	115376	牧場実習	2	及川ほか	F S C				



開講 セメスター	講 義 番 号	授 業 科 目 名	単 位	教 員 名	提 示 コ ー ス 等	農 芸 化 学	応 用 植 物 科 学	応 用 動 物 科 学	環 境 生 態 学
5	115413	フィールド実習	2	福田(文)ほか	F S C				
5	115378	応用生物統計学	2	及川・田原	共 通				
5	115379	インターンシップ	2	担当教員	共 通				
5-6	115380	農芸化学コース実験	2	担当教員	農芸化学				
5-6	115381	農芸化学コース実験	2	担当教員	農芸化学				
5-6	115382	農芸化学コース実験	2	担当教員	農芸化学				
5・7	115383	応用分子生物学	1	非常勤(集中)	農芸化学(H22)				
5・7	115384	有用物質生産技術学	1	非常勤(集中)	農芸化学(H23)				
5・7	115385	栽培植物起源論	2	非常勤(集中)	応用植物科学(H22)				
5・7	115386	植物ゲノムダイナミクス	2	前川	応用植物科学(H23)				
5・7	115387	植物ウイルス学	2	鈴木	応用植物科学(H23)				
5・7	115388	家畜伝染病学(家畜疾病学)	2	非常勤(集中)	応用動物科学(H23)				
5・7	115389	食品衛生学	2	非常勤(集中)	応用動物科学(H23)				
5・7	115418	公衆衛生学	2	三好	応用動物科学(H23)				
5・7	115390	林学概論	2	非常勤(集中)	環境生態学(H23)				
5・7	115391	農業生産施設学	2	非常勤(集中)	環境生態学(H22)				
5・7	115392	農村社会学	2	非常勤(集中)	環境生態学(H23)				
5・7	115393	昆虫生理学	2	園田	環境生態学(H22)				
6	115394	生物有機化学	2	神崎	農芸化学				
6	115395	食品化学	2	中村	農芸化学				
6	115396	生理活性物質化学	2	中島	農芸化学				
6	115397	細胞生化学	2	木村	農芸化学				
6	115398	植物栄養生理学	2	笹川	農芸化学				
6	115399	環境微生物学	2	金原	農芸化学				
6	115400	植物病害防除学	2	山本(幹)	応用植物科学				
6	115401	果実生産学	2	平野	応用植物科学				
6	115402	作物発育調節学	2	平井	応用植物科学				
6	115403	野菜発育調節学	2	吉田	応用植物科学				
6	115405	動物生体防御学	2	近藤	応用動物科学				
6	115406	食料政策学	2	小松	環境生態学				
6	115407	農業協同組合論	2	小松	環境生態学				
6	115408	農村計画学	2	駄田井	環境生態学				
6	115409	基礎昆虫学	2	松浦	環境生態学				
6	115410	進化生物学	2	宮竹	環境生態学				
6	115411	森林保全学	2	廣部	環境生態学				
6	115412	水系保全生物学	2	福田	環境生態学				
6	115426	樹木生態生理学	2	三木	環境生態学				
6・8	115415	植物遺伝生理学	2	坂本(亘)	応用植物科学(H22)				
6・8	115416	植物細胞生理学	2	且原	応用植物科学(H23)				
6・8	115417	植物分子遺伝学	2	村田(稔)	応用植物科学(H23)				

開講 セメ スター	講 義 番 号	授 業 科 目 名	単 位	教 員 名	提 示 コ ー ス 等	農 芸 化 学	応 用 植 物 科 学	応 用 動 物 科 学	環 境 生 態 学
6・8	115419	昆虫科学	2	非常勤(集中)	環境生態学(H23)				
7	115420	有機構造解析学	2	仁戸田ほか	農芸化学				
7	115421	生体高分子解析学	2	田村ほか	農芸化学				
集中	115500	特別施設園芸実習	1	島根大学開講科目	他大学単位互換				
集中	115501	里山フィールド演習	2	鳥取大学開講科目	他大学単位互換				
集中	115502	果樹園芸の里フィールド演習	2	愛媛大学開講科目	他大学単位互換				
集中	115503	里海フィールド演習	2	広島大学開講科目	他大学単位互換				
5	115601	職業指導概説	2		教職科目				
6	115602	職業指導概説	2		教職科目				

[付記1] 「コース演習」は農芸化学英語，応用植物科学英語，応用動物科学英語，環境生態学英語を含む。

[付記2] 農芸化学コース実験 ～ は以下の内容を含む。

- ：物理化学実験・有機化学実験・天然物分析化学実験
- ：生物化学実験・食品化学実験・分析化学実験
- ：応用微生物学実験・酵素化学実験・遺伝子化学実験

[付記3] 応用植物科学コース実験 ～ は以下の内容を含む。

- ：植物形態学実験・植物繁殖学実験・植物病理学実験
- ：植物機能学実験・植物生理学実験・植物遺伝学実験
- ：酵素学実験・遺伝子工学実験・植物有機成分分析実験

[注] 開講セメスターは，都合により，変更する場合がある。

なお，開講セメスター欄の3・5，4・6，5・7，6・8とあるものは隔年開講を示し，5・6は5セメスターから開始し，6セメスターで終了することを示している。

提示コース欄のFSCは，山陽圏フィールド科学センターを，(H22)，(H23)は開講年度を示している。

他大学との単位互換科目として以下の科目を夏季休業中に履修できる。各科目の概要，履修要件，実施時期等詳細は別途掲示するので希望者は各自注意すること。

- ・特別施設園芸実習 島根大学 1単位
- ・里山フィールド演習 鳥取大学 2単位
- ・果樹園芸の里フィールド演習 愛媛大学 2単位
- ・里海フィールド演習 広島大学 2単位

115379 インターンシップは，在学中に就業体験(現場体験)を行うことにより，単位を認定する科目である。受講希望者は掲示に注意すること。

115601 職業指導概説，115602 職業指導概説 は，卒業要件単位には含まれない。

履修課程表の規程にかかわらず，開講されない授業科目がある場合には，セメスターの開始までに公示する。

## 5 . 履修についての説明

### 1 履修方法と卒業所要単位

#### (1) 教養教育科目

1年次から4年次にかけて履修課程表1に掲げる教養教育科目を以下に定める様に履修し修得する。  
但し、1年間で履修登録できる単位数は33単位までとする。

#### (イ) ガイダンス科目

- ・総合農業科学入門2単位を必修とする。

##### 主題科目

- ・「現代の課題」「人間と社会」「健やかに生きる」「自然と技術」の4つの主題グループの各グループからそれぞれ1授業科目2単位以上、計8単位以上選択必修とする。

但し、個別科目の人文・社会科学および自然科学、生命・保健科学と併せて23単位を選択必修とする。

##### 個別科目

- ・自然科学から6単位を選択必修とする。但し、実験科目を含むことが望ましい。

##### 外国語科目

- ・英語（基礎農学英語）2単位及び英語（ネイティブ）2単位を必修とする。
- ・英語（作文・文法）、英語（読解）、英語（検定）、上級英語、英語特別演習1、英語特別演習2から4単位選択必修とする。
- ・ドイツ語初級、ドイツ語中級、フランス語初級、フランス語中級、中国語初級、中国語中級、韓国語初級、韓国語中級、ロシア語初級、ロシア語中級、スペイン語初級、スペイン語中級、イタリア語初級、イタリア語中級から4単位選択必修とする。

外国人留学生は日本語（A、B、C、D）から4単位選択必修とする。

- ・次の外国語科目については、外部検定試験の結果により単位を認定することができる。単位の認定を希望する者は、教務学生担当で指示を受けること。

## 外部検定試験による単位認定基準

科目	認定の対象とする外部検定試験等	合格基準	認定する授業科目・単位数
英語	【英語関係】 Test of English for International Communication (TOEIC, IPを含む)	470～585点 (OT3)	英語(作文・文法) 英語(読解) 英語(検定) } の中から2単位
		590～725点 (OT2)	英語(作文・文法) 英語(読解) 英語(検定) } の中から4単位
	-----	-----	-----
	実用英語技能検定 (英検) 国際連合公用語・英語検定試験 (国連英検)	準1級 B級	英語(ネイティブ) 英語(作文・文法) 英語(読解) 英語(検定) } の中から4単位
	Test of English as a Foreign Language (TOEFL・PBT, ITPを含む) Test of English as a Foreign Language (TOEFL・CBT) Test of English as a Foreign Language (TOEFL・iBT)	500点以上 173点以上 61点以上	
【英語関係】 Test of English for International Communication (TOEIC, IPを含む)	730点以上 (OT1)	英語(ネイティブ) 及び 英語(作文・文法) 英語(読解) 英語(検定) } 4単位	
	-----	-----	
	実用英語技能検定 (英検) 国際連合公用語・英語検定試験 (国連英検)	1級 A級	英語(ネイティブ) 英語(作文・文法) 英語(読解) 英語(検定) } の中から8単位
Test of English as a Foreign Language (TOEFL・PBT, ITPを含む) Test of English as a Foreign Language (TOEFL・CBT) Test of English as a Foreign Language (TOEFL・iBT)	550点以上 213点以上 79点以上		
ドイツ語	ドイツ語技能検定試験 (独検)	4級	ドイツ語初級(文法) ドイツ語初級(読本) ドイツ語初級(文法) ドイツ語初級(読本) } 4単位 又は ドイツ語初級(総合) 4単位
		3級以上	ドイツ語初級(総合) 4単位 又は ドイツ語中級 4単位
		-----	-----
フランス語	実用フランス語技能検定試験 (仏検)	5級	フランス語初級(文法)又は フランス語初級(読本) 2単位
		4級	フランス語初級(文法) フランス語初級(読本) フランス語初級(文法) フランス語初級(読本) } 4単位 又は フランス語初級(総合) 4単位
		3級以上	フランス語初級(総合) 4単位 又は フランス語中級 4単位
		-----	-----
中国語	漢語水平考試 (HSK)	基礎1級	中国語初級(文法)又は 中国語初級(読本) 2単位
		基礎2級	中国語初級(文法) 中国語初級(読本) 中国語初級(文法) 中国語初級(読本) } 4単位
		基礎3級及び 初中等1級以上	中国語中級 4単位

韓国語	韓国語能力試験	1級	韓国語初級（文法） 韓国語初級（読本） 韓国語初級（文法） 韓国語初級（読本） 又は 韓国語初級（総合）	4単位    4単位
		2級以上	韓国語初級（総合） 又は 韓国語中級	4単位  4単位
スペイン語	スペイン語技能検定	6級	スペイン語初級（文法）又は スペイン語初級（読本）	2単位
		5級	スペイン語初級（文法） スペイン語初級（読本） スペイン語初級（文法） スペイン語初級（読本）	4単位
		4級以上	スペイン語中級	4単位
イタリア語	実用イタリア語検定	5級	イタリア語初級（文法）又は イタリア語初級（読本）	2単位
		4級	イタリア語初級（文法） イタリア語初級（読本） イタリア語初級（文法） イタリア語初級（読本）	4単位
		3級以上	イタリア語中級	4単位

- 備考 1 成績の取り扱いは「認定」とする。  
2 外部検定試験等による単位認定は、一外国語につき8単位を限度とする。  
3 英語に関しては、【英語関係】と【英語関係】は重複して単位認定の対象とする。  
4 ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語、スペイン語及びイタリア語に関しては、一つの授業科目について外部検定試験等による単位認定は1回限りとする。

(2) 専門教育科目

1 年次生は、農業科学の全容を概括的に把握するための専門基礎科目を履修する。更に 2 年次、3 年次と逐次より専門的な科目を履修することになるが、指導教員との相談のもとに個々の学生に応じたカリキュラムが作成され、それに従って履修できるよう授業科目を開設している。

(イ) 専門基礎科目

- ・履修課程表 2 - a に掲げる専門基礎科目のうちから必修科目 16 単位を含め計 22 単位を履修する。
- ・卒業に必要な単位を越えて修得した単位数は、コース科目自由選択科目の単位数とすることができる。

専門科目

必修科目

- ・履修課程表 2 - b に掲げる専門科目（必修科目）の 16 単位を必修とする。
- ・卒業論文は、3 年次修了時まで卒業に必要な単位 124 単位中 100 単位以上修得している者が履修できる。

コース科目

- ・コース科目選択必修科目は、履修課程表 2 - c に掲げる専門科目（コース科目）のうち、当該コースを専攻する学生が各コースで指定した授業科目（印）のうちから 18 単位を選択必修とする。
- ・卒業に必要な単位を越えて修得した科目は、コース科目自由選択科目の単位数とすることができる。
- ・コース科目自由選択科目は、履修課程表 2 - c に掲げる専門科目のうち、当該コースを専攻する学生が各講座で指定したコース科目選択必修科目以外の科目から 31 単位を選択するものとする。

成績の評価

- ・成績の評価は、A +（100 点～90 点）、A（89 点～80 点）、B（79 点～70 点）及び C（69 点～60 点）をもって合格とし、F（59 点以下）を不合格とする。

(3) 卒業に必要な単位

卒業に必要な単位は、下記のとおりとする。

科 目 区 分 等			単 位 数	
教養教育科目	ガイダンス科目		2	
	主題科目	現代の課題	23	
		人間と社会		
		健やかにかに生きる		
	自然と技術			
	個別科目	人文・社会科学		
		生命・保健科学		
自然科学				
外国語科目		12		
計		37		
専門教育科目	専門基礎科目	必修科目	16	
	専門科目	選択必修科目	6	
		コース科目	選択必修科目	16
			自由選択科目	18
	計		31	
計		87		
合 計		124		

## 2 農学部における成績評価基準

- (1) 成績評価は授業の教育目標に対する学習者の到達度を見るものであり、学習者が学習意欲を高め、評価に対する不公平感を持たないように、その目標と評価の方法を明確にしなければならない。
- (2) 評価は授業の途中でも行い、その結果をフィードバックさせることによって授業方法を改善しながら学習者の目標への到達度を高めるようにする。
- (3) 評価は授業の形態（講義、実験、実習、演習等）に対応して多面的で多様な方法によって行う。  
講義は期末テストに偏重することなく、課題レポート、中間テスト、小テスト、出席状況などを評価の方法とする。実験、実習は出席状況、技術の修得度、受講態度、結果のとりまとめレポート、期末テスト、中間テスト、小テストなどを評価の方法とする。演習は出席状況、授業中の発言回数・内容、受講態度、課題の達成度などを評価の方法とする。
- (4) 授業の教育目標とその評価のために採用する具体的な評価方法は個々の授業についてのシラバスに明記する。

## 3 分属について

学年を追って専門分野の理解を深めるために、2年次前期（3セメスター）開始時に4つの教育コースのいずれかに分属する。さらに、各教育コースにおいて、以下の各セメスター開始時には卒業論文を履修する研究ユニットに分属する。

農芸化学コース：第7セメスター

応用植物科学コース：第5セメスター

応用動物科学コース：第6セメスター

環境生態学コース：第4セメスター

なお、教育コース、研究ユニットへの分属の決定は制度に則った指導による。

- (1) 分属学生数  
教育コースおよび研究ユニット毎に、分属する学生の基準数を定める。  
分属基準学生数の算出はそれぞれの所属教員数と総学生数を基礎とする。
- (2) 教育コース分属  
教育コース分属の決定は指導によって行う。しかし、特定のコースで志望者がその基準数を超えたときには、適当な方法で選別を行う。全ての学生はいずれかのコースに分属するものとし、未分属は認めない。但し、入学年度に休学した学生は次年度入学生と共に分属を行う。  
なお、教育コースに分属するためには、農学部履修細則第6条に示す履修条件を満たしていなければならない。履修条件を満たしていない学生は、次年度への進級ができないものとする。
- (3) 研究ユニットへの分属  
研究ユニットへの分属の決定は教育コース内での指導による。なお、特別の事情がない限り、コース間での移動は認めない。
- (4) 選別の基準および方法  
それぞれの段階で選別を行う場合、既履修の専門基礎科目、専門科目の学科必修科目、コース科目の成績のほか、面接などを採用し、原則として試験は行わない。
- (5) その他  
4年次において、特別の事情がある場合には、他研究ユニットによる卒業論文指導が認められることがある。この場合、原則として所属研究ユニットは変わらない。



## 6 . 履 修 手 続

### (1) 履修登録について

学部から示される履修課程表及び時間割，シラバス等に基づいて，定められた期日までに履修しようとする授業科目を大学内のパソコンから履修登録をしなければならない。

履修の手続きについては，その都度掲示するので，掲示板に注意すること。

### (2) 教育学部専門教育科目の履修

教育学部専門教育科目（教職免許科目）の履修については，その都度掲示するので，指定された期日までに手続きすること。

### (3) 集中講義

集中講義の履修については，その都度掲示するので，指定された期日までに手続きすること。

## 7 . 大 学 院 へ の 進 学

農学部等（理学部，工学部，環境理工学部，農学部）を基礎学部とする大学院として岡山大学大学院自然科学研究科，岡山大学大学院環境学研究科が設置されています。これらの大学院の専攻及び講座の内容については，それぞれの年度に発表される入学案内によること。

## 8 . 諸 資 格 お よ び 教 育 職 員 免 許 状 の 取 得

### (1) 食品衛生管理者・食品衛生監視員：この資格を取得するためには，農学部履修細則（学生便覧10～11ページ）及び次ページ記載の「食品衛生資格取得コース履修科目表」をよく承知しておくこと。

食品衛生管理者とは，当該の食品又は添加物の製造及び加工を衛生的に管理するための専門資格であり，当該の施設ごとに配置することが義務づけられている。

この資格は，卒業後に衛生管理を必要とする施設等に就職してから，当該の都道府県に申請することにより取得できる。

食品衛生監視員とは，国，都道府県及び保健所を設置する市で，食品衛生に関する監視，指導等に従事する職員（国家及び地方公務員）のことである。詳細については国又は都道府県等の募集要項を参照されたい。

## 10. 岡山大学農学部学生交流取扱細則

(目的)

第1条 この細則は、本学部規程第19条第2項及び第21条第2項の規程に基づき学生交流の取扱いに関して、必要な事項を定める。

(定義)

第2条 この細則における「学生交流」、「他の大学」及び「大学間協議」とは、次の定義による。

2 「学生交流」とは、本学部が教育上有益と認め、他の大学との協議に基づき、当該大学又は当該短期大学（外国の大学又は短期大学を含む。以下当該大学という。）の授業科目を履修させる学生（以下「派遣学生」という。）の派遣及び他の大学の学生で本学部との協議に基づき本学部の授業科目を履修する学生（以下「特別聴講生」という。）の受け入れをいう。

3 「他の大学」とは、本学部が学生交換を行う国・公・私立大学（短期大学を含む。）又は外国の大学（短期大学を含む。）をいう。

4 「大学間協議」とは、学生交流について、本学部と他の大学又は、他の大学の学部の間で、授業科目、単位数、学生数、期間、単位認定方法、授業料等の費用、その他実施上必要とされる具体的な措置について行う協議をいう。

(審議)

第3条 学生交流について、大学間協議を行うときには、教授会の議を経なければならない。

(派遣学生)

第4条 派遣学生を志願する学生は、指導教員の承認を得て、学部長に願い出、許可を得なければならない。

2 指導教員の承認を得た学生は、次の書類を提出しなければならない。

- 一 聴講許可願
- 二 指導教員の推薦書
- 三 他の大学が必要とする書類

3 学部長は他の大学との協議が成立した後、学生に許可を与えるものとする。

4 出願の時期は、大学間協議の定めるところによる。

第5条 派遣学生が他の大学で履修した単位は、30単位を限度として、卒業の要件単位として取り扱うことができる。ただし、原則として本学部必修科目の単位としては認めない。

2 前項の単位認定は、教授会で行う。

第6条 派遣学生は、履修期間が終了したときすみやかに修了報告書を学部長に提出しなければならない。

(特別聴講学生)

第7条 他の大学の学生で、本学部の授業科目の履修を志願する者があるときは、当該大学との協議に基づき特別聴講学生として履修を認めるものとする。

第8条 特別聴講学生を志願する学生は、次の書類を履修する授業科目が開講される日の2か月前までに（外国の大学の場合は4か月前までに）当該大学の長から学部長に提出しなければならない。

- 一 特別聴講学生願
- 二 成績証明書
- 三 指導教員の推薦書
- 四 健康診断書

五 その他本学部が必要と認める書類

第9条 特別聴講学生が、本学の秩序をみだし、学生の本分にもとる行為があったとき、あるいは学生交流の主旨に反したときは、当該大学と協議の上、特別聴講学生としての身分を取り消すことがある。

第10条 特別聴講学生の履修方法・単位修得等については、本学学生と同等に取り扱い、修得した単位については、単位修得証明書を交付する。

附 則

この細則は、平成16年4月1日から施行する。